

感音難聴の患者調査 調査概要

■ 調査趣旨

- 当調査では、感音難聴と診断され、治療（経過観察も含む）のために医療機関を受診している335人を対象に、難聴を自覚した年齢やきっかけ、医療機関を受診するまでの経緯、突発性難聴および加齢性・先天性・騒音性難聴の治療実態、難聴治療の満足度と不満点、感音難聴を改善する治療薬（全体、投与方法別）の使用意向等を集計・分析している。
- 調査結果より、感音難聴の治療に対する満足度はかなり低いことがわかった。また、感音難聴を改善する治療薬の使用意向が高い人は8割を超える。さらに使用意向が高い人のうち、飲み薬は9割、点滴注射薬は6～7割、鼓室内注射薬は半数の人で、使用意向が高いことが判明している。

◆ 調査方法

- ✓ Webアンケート調査
- ✓ 調査エリア：全国
- ✓ 調査対象：感音難聴と診断され、治療のために、
現在医療機関を受診している20歳以上の男女
- ✓ サンプル数：335

性別	N	%
男性	222	66.3
女性	113	33.7
合計	335	100.0

年代別	N	%
30代以下	27	8.1
40代	59	17.6
50代	76	22.7
60代	87	26.0
70代以上	86	25.7
合計	335	100.0

◆ 調査ポイント

- ✓ 難聴を自覚／医療機関を受診したきっかけ
- ✓ 突発性難聴の治療実態（治療法、治療薬）
- ✓ 加齢性・先天性・騒音性難聴の治療実態（治療法）
- ✓ 難聴治療の満足度
- ✓ 難聴治療の不満点
- ✓ 難聴による困りごと（HHIA評価）
- ✓ 感音難聴を改善する治療薬の使用意向

- 調査期間 2021年11月
- 発刊日 2021年11月30日
- 報告書体裁 PPT/PDF
- 頒価 594,000円（税抜：540,000円）

【調査分析】

TPCマーケティングリサーチ株式会社

<http://www.tpc-osaka.com>

リサ・リレーション事業部 ソリューショングループ

担当：水上 徹

t.mizukami@tpc-osaka.com

調査概要

被験者特性

分析編

1. 難聴を自覚した年齢ときっかけ	9
2. 難聴を自覚してから受診するまでの経緯	10
3. 医療機関の受診状況	11
4. 突発性難聴の治療実態①	12
5. 突発性難聴の治療実態②	13
6. 加齢性・先天性・騒音性難聴の治療実態	14
7. 難聴治療の満足度	15
8. 難聴治療の不満点	16
9. 感音難聴を改善する治療薬の使用意向①	17
10. 感音難聴を改善する治療薬の使用意向②	18

【クロス集計表の見方】

(N=30以上)

[比率の差]

	全体	+10 ポイント
	全体	+5 ポイント
	全体	-5 ポイント
	全体	-10 ポイント

集計編

1. 難聴を最初に自覚した年齢	20
1) 難聴を最初に自覚した年齢	20
2) 自覚してから現在までの期間	22
3) 自覚してから現在までの期間(SA)	24
2. 難聴を最初に自覚したきっかけ	26
3. 難聴を自覚してから医療機関を受診するまでの期間	28
4. 難聴を自覚してからすぐに医療機関を受診しなかった理由	30
5. 難聴で医療機関を受診したきっかけ	32
6. 医療機関を受診してから感音難聴と診断されるまでの期間	34
7. 最初に受診した／感音難聴と診断された／	
現在受診している医療機関	36
1) 最初に受診した医療機関	36
2) 感音難聴と診断された医療機関	38
3) 現在受診している医療機関	40
8. 医療機関の受診頻度	42
1) 医師から指示された受診頻度	42
2) 実際の受診頻度	44
3) 受診頻度の遵守状況	46
9. 医療機関までの平均通院時間	48
10. 突発性難聴の重症度	50
11. 加齢性・先天性・騒音性難聴の重症度	52
12. どの耳に難聴症状があるか	54
13. 難聴の進行度合い	56
14. 難聴が回復している要因	58
15. 難聴が悪化している要因	60
16. 難聴の関連症状の状況	62
17. 難聴の治療を中断した経験	64
18. 難聴の治療を自ら中断した理由	66

19. 医療機関で行った突発性難聴の治療法	68
1) これまでに行ったことがある治療法	68
2) 直近 1 か月以内に行った治療法	70
20. 突発性難聴を自覚してから 3 か月以降に行った治療法	72
21. 突発性難聴で効果を実感したことがある治療法	74
1) 全体	74
2) 治療法別	76
22. 突発性難聴の治療法の連続治療期間	77
23. 突発性難聴の治療法の 1 日あたりの服用／投与回数	79
1) 飲み薬(ステロイド)の服用	79
2) 飲み薬(ステロイド以外)の服用	81
3) 点滴(静注)でステロイドを投与	83
4) 鼓室内注入でステロイドを投与	85
24. 突発性難聴におけるステロイド注射の平均治療時間	87
1) 点滴(静注)でステロイドを投与	87
2) 鼓室内注入でステロイドを投与	89
25. 突発性難聴におけるステロイド注射の 1 週間あたりの治療頻度	91
1) 点滴(静注)でステロイドを投与	91
2) 鼓室内注入でステロイドを投与	93
26. 突発性難聴におけるステロイド注射の治療回数	95
1) 点滴(静注)でステロイドを投与	95
2) 鼓室内注入でステロイドを投与	97
27. 突発性難聴で処方された飲み薬	99
1) これまで処方されたことがある飲み薬	99
2) 直近 1 か月以内に処方された飲み薬	101
28. 突発性難聴で効果を実感したことがある治療薬	103
1) 全体	103
2) 製品別	106
29. 医療機関で行った加齢性・先天性・騒音性難聴の治療法	107
1) これまでに行ったことがある治療法	107
2) 直近 1 か月以内に行った治療法	109

30. 加齢性・先天性・騒音性で効果を実感したことがある治療法	111
1) 全体	111
2) 治療法別	113
31. 飲み薬の服用遵守状況	114
32. 飲み薬の服用を遵守できていない理由	116
33. 感音難聴の治療に対する満足度	118
1) 難聴に対する効果の満足度	118
2) 耳鳴りや耳の痛み、めまいなど 難聴以外の関連症状に対する効果の満足度	121
3) 総合満足度	124
34. 補聴器／人工内耳の使用状況	127
1) 補聴器	127
2) 人工内耳	129
35. 難聴で医療機関を受診してから 補聴器／人工内耳を使用するまでの期間	131
1) 補聴器	131
2) 人工内耳	133
36. 補聴器／人工内耳の効果に対する満足度	135
1) 補聴器	135
2) 人工内耳	138
37. 補聴器／人工内耳の不満点	141
1) 補聴器	141
2) 人工内耳	143
38. 難聴治療の不満点	145
1) 不満に感じている点(MA)	145
2) 最も不満に感じている点(SA)	147
39. 治療法の決定状況	149
40. 難聴により困っていること(HHIA 評価)	151
1) 全体	151
2) 感情面	153
3) 社会面	155

41. 感音難聴を改善する治療薬の使用意向	158
42. 感音難聴を改善する飲み薬／点滴注射薬／ 鼓室内注射薬の使用意向 . . .	160
1) 飲み薬	160
2) 点滴注射薬	162
3) 鼓室内注射薬	164
43. 鼓室内注射薬の許容頻度	166
44. 感音難聴を改善する治療薬を使用する場合の 1 か月あたりの自己負担額の上限 . .	168
45. 感音難聴を改善する治療薬の使用意向が低い理由	170
46. 難聴の治療に関する情報の入手先	172
47. インターネットにおける 難聴の治療に関する情報の入手先	174

調査票

調査票

難聴に関するアンケート

選択肢記号の説明

- ☐ 複数選択（チェックボックス）
☐ 単一選択（ラジオボタン）
☐ 単一選択（プルダウン）

SAR

SQ1

あなたは、難聴（耳が聞こえにくい状態）の治療のために、医療機関（病院や診療所・クリニック）を受診した（治療を行った）経験がありますか。
 最もあてはまるものを1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 現在、医療機関（病院や診療所・クリニック）を受診し、治療（経過観察を含む）を行っている（現在は受診していないが）過去に、医療機関（病院や診療所・クリニック）を受診し、治療（経過観察を含む）を行ったことがある
☐ 2. これまで、医療機関（病院や診療所・クリニック）を受診したことはないが病気は自分に関係ない

SAR

SQ2

あなたの難聴（耳が聞こえにくい状態）のタイプは、医師からどのように診断されていますか。
 あてはまるものを1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 感音難聴（耳の入り口に比較的近い内耳、聴神経、脳の異常（損傷）が原因で起こる難聴）
☐ 2. 伝音難聴（耳の入り口に比較的近い外耳、中耳の異常（損傷）が原因で起こる難聴）
☐ 3. 混合性難聴（感音難聴と伝音難聴の2つが合併した難聴）
☐ 4. 上記に診断されている（あてはまる）タイプはない／よくわからない

SAR

SQ3

では、下記に医師から診断されている難聴はありますか。
 あてはまるものを1つお選びください。
 選択肢の病名で診断されておらず、カッコ内のような原因を医師から言われている場合も、該当する選択肢をお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 突発性難聴【耳が聞こえにくい状態になってから3か月未満】（突然起こる原因不明の難聴）
☐ 2. 突発性難聴【耳が聞こえにくい状態になってから3か月以上】（突然起こる原因不明の難聴）
☐ 3. 加齢性（老人性、老年性）難聴（加齢が原因で起こる難聴）
☐ 4. 騒音性難聴（長時間、長期間の騒音が原因で起こる難聴）
☐ 5. 先天性難聴（生まれつき起こっている難聴）
☐ 6. 上記に診断されている（あてはまる）病気はない／よくわからない

SAP

Q1

あなたが難聴（耳が聞こえにくい状態）を最初に自覚した年齢は何歳ぐらいですか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 0歳
☐ 2. 1歳
☐ 3. 2歳
☐ 4. 3歳
☐ 5. 4歳
☐ 6. 5歳
☐ 7. 6歳
☐ 8. 7歳
☐ 9. 8歳
☐ 10. 9歳
☐ 11. 10歳
☐ 12. 11歳
☐ 13. 12歳
☐ 14. 13歳
☐ 15. 14歳
☐ 16. 15歳
☐ 17. 16歳
☐ 18. 17歳
☐ 19. 18歳
☐ 20. 19歳
☐ 21. 20歳
☐ 22. 21歳
☐ 23. 22歳
☐ 24. 23歳
☐ 25. 24歳
☐ 26. 25歳
☐ 27. 26歳
☐ 28. 27歳
☐ 29. 28歳
☐ 30. 29歳
☐ 31. 30歳
☐ 32. 31歳
☐ 33. 32歳
☐ 34. 33歳
☐ 35. 34歳
☐ 36. 35歳
☐ 37. 36歳
☐ 38. 37歳
☐ 39. 38歳
☐ 40. 39歳
☐ 41. 40歳
☐ 42. 41歳
☐ 43. 42歳
☐ 44. 43歳
☐ 45. 44歳
☐ 46. 45歳
☐ 47. 46歳
☐ 48. 47歳
☐ 49. 48歳
☐ 50. 49歳
☐ 51. 50歳
☐ 52. 51歳
☐ 53. 52歳
☐ 54. 53歳
☐ 55. 54歳
☐ 56. 55歳
☐ 57. 56歳
☐ 58. 57歳
☐ 59. 58歳
☐ 60. 59歳
☐ 61. 60歳
☐ 62. 61歳
☐ 63. 62歳
☐ 64. 63歳
☐ 65. 64歳
☐ 66. 65歳
☐ 67. 66歳
☐ 68. 67歳
☐ 69. 68歳
☐ 70. 69歳
☐ 71. 70歳
☐ 72. 71歳
☐ 73. 72歳
☐ 74. 73歳
☐ 75. 74歳
☐ 76. 75歳
☐ 77. 76歳
☐ 78. 77歳

▽	79.	78歳
▽	80.	79歳
▽	81.	80歳
▽	82.	81歳
▽	83.	82歳
▽	84.	83歳
▽	85.	84歳
▽	86.	85歳
▽	87.	86歳
▽	88.	87歳
▽	89.	88歳
▽	90.	89歳
▽	91.	90歳
▽	92.	91歳
▽	93.	92歳
▽	94.	93歳
▽	95.	94歳
▽	96.	95歳
▽	97.	96歳
▽	98.	97歳
▽	99.	98歳
▽	100.	99歳
▽	101.	100歳
▽	102.	101歳
▽	103.	102歳
▽	104.	103歳
▽	105.	104歳
▽	106.	105歳
▽	107.	106歳
▽	108.	107歳
▽	109.	108歳
▽	110.	109歳
▽	111.	110歳
▽	112.	111歳以上

MAC	Q2	あなたが難聴を最初に自覚したきっかけとして、あてはまるものをすべてお選びください。	▲ 設問文を折りたたむ
-----	----	---	-------------

☐	1.	対面で会話しているときに、相手の言葉が聞き取れない（聞き返す）ことが多かった
☐	2.	電話で会話しているときに、相手の言葉が聞き取れない（聞き返す）ことが多かった
☐	3.	テレビやラジオの音が聞こえづらくなった／音が大きいことを家族や知人などに指摘された
☐	4.	（あなたの）話し声が大きいことを家族や知人などに指摘された
☐	5.	家族や知人に呼びかけられても気づかないことがあった
☐	6.	屋外で車や自転車などが来るのに気づかず、事故に巻き込まれた
☐	7.	耳鳴りや音のゆがみ、耳が詰まるような症状を感じた
☐	8.	その他【FA】

Q2_8FA

SAR	Q3	あなたが難聴を最初に自覚してから、医療機関を初めて受診するまでにどれくらいの期間がかかりましたか。 あてはまるものを1つお選びください。	▲ 設問文を折りたたむ
-----	----	---	-------------

☐	1.	自覚してすぐに
☐	2.	（すぐではないが）1か月未満
☐	3.	1か月～3か月未満
☐	4.	3か月～6か月未満
☐	5.	6か月～1年未満
☐	6.	1年～2年未満
☐	7.	2年以上
☐	8.	覚えていない／よくわからない

MAC	Q4	では、前問（Q3）で難聴を自覚してから、すぐに医療機関を受診しなかったのは、どのような理由からですか。 あてはまるものをすべてお選びください。	▲ 設問文を折りたたむ
-----	----	--	-------------

☐	1.	自分で改善できると思ったから
☐	2.	放っておいても治ると思ったから
☐	3.	日常生活にあまり支障がなかったから
☐	4.	忙しくて受診できなかったから
☐	5.	病院に行くほどではない（たいしたことはない）と思ったから
☐	6.	あまり気にならなかったから
☐	7.	他の病気や症状の受診を優先したから
☐	8.	その他【FA】

Q4_8FA

MAC	Q5	あなたは難聴について、どのようなことがきっかけで医療機関を受診しましたか。 あてはまるものをすべてお選びください。	▲ 設問文を折りたたむ
-----	----	--	-------------

☐	1.	急に聞こえづらく（聞こえなく）なり、受診する必要があると感じたので
☐	2.	難聴がしばらく続いたので
☐	3.	難聴が徐々にひどく（聞こえづらく）なってきたので
☐	4.	難聴により精神的症状が出た（出てきた）ので
☐	5.	日常生活に支障が出たので
☐	6.	自分で病気のことを調べて、受診する必要があると感じたので
☐	7.	家族や友人などに勧められて
☐	8.	めまいや耳鳴り、吐き気などの症状が出た（出てきた）ので
☐	9.	別の病気にかかっている医師に受診を勧められたので
☐	10.	その他【FA】

Q5_10FA

SAR	Q6	最初に医療機関を受診してから、感音難聴（又は混合性難聴、突発性難聴、加齢性難聴、騒音性難聴）と診断されるまでの期間は何くらいですか。 最もあてはまるものを1つお選びください。 ※複数診断された場合（例：感音難聴と加齢性難聴の両方を診断された等）は、先に診断された方について、お答えください。	▲ 設問文を折りたたむ
-----	----	---	-------------

☐	1.	受診してすぐに
☐	2.	（すぐではないが）1か月未満
☐	3.	1か月～3か月未満
☐	4.	3か月～6か月未満
☐	5.	6か月～1年未満
☐	6.	1年～2年未満
☐	7.	2年以上
☐	8.	覚えていない／よくわからない

MTS	Q7	あなたが難聴の治療で、最初に受診した医療機関、感音難聴（又は混合性難聴、突発性難聴、加齢性難聴、騒音性難聴、先天性難聴）と診断された医療機関、現在受診している医療機関をお答えください。 ※現在、複数の医療機関を受診している人は、主なもの1つお答えください。 ※複数診断された場合（例：感音難聴と加齢性難聴の両方を診断された等）は、先に診断された方の医療機関について、お答えください。	▲ 設問文を折りたたむ
-----	----	---	-------------

項目リスト		
Q7S1	1.	最初に受診した医療機関
Q7S2	2.	感音難聴（又は混合性難聴、突発性難聴、加齢性難聴、騒音性難聴、先天性難聴）と診断された医療機関
Q7S3	3.	現在受診している医療機関

選択肢リスト		
☐	1.	【医療・診療所・クリニック（開業医）】耳鼻科（耳鼻咽喉科）
☐	2.	【医療・診療所・クリニック（開業医）】内科
☐	3.	【医療・診療所・クリニック（開業医）】脳神経内科（神経内科）
☐	4.	【医療・診療所・クリニック（開業医）】聴覚専門外来
☐	5.	【医療・診療所・クリニック（開業医）】その他診療科
☐	6.	【大学病院以外の病院】耳鼻科（耳鼻咽喉科）
☐	7.	【大学病院以外の病院】内科
☐	8.	【大学病院以外の病院】脳神経内科（神経内科）
☐	9.	【大学病院以外の病院】聴覚専門外来
☐	10.	【大学病院以外の病院】その他診療科
☐	11.	【大学病院】耳鼻科（耳鼻咽喉科）
☐	12.	【大学病院】内科
☐	13.	【大学病院】脳神経内科（神経内科）
☐	14.	【大学病院】聴覚専門外来
☐	15.	【大学病院】その他診療科
☐	16.	その他

FA

FA

FA

FA

MTS

Q8

現在、あなたが難聴の治療のために、医療機関を定期的に受診（通院）している頻度はどれくらいですか。
医師から指示された受診頻度と実際の受診頻度について、それぞれ最も近いものを1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

Q8S1
Q8S2

項目リスト

1. 医師から指示された受診頻度
2. 実際の受診頻度

選択肢リスト

1. 週1回程度（以上）
2. 月2回程度
3. 月1回程度
4. 2～3か月に1回程度
5. 半年に1回程度
6. それ（半年に1回）より少ない
7. （症状が悪化したときだけなど）不定期
8. 特に指示されていない

SAR

Q9

現在、あなたが難聴で医療機関を受診する際の通院時間は、平均するとどれくらいかかりますか。
最も近いものをお選びください。
※徒歩や車、公共交通機関の利用などをすべて含めた通院時間をお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

1. 30分未満
2. 30分～1時間未満
3. 1時間～1時間30分未満
4. 1時間30分～2時間未満
5. 2時間以上

SAR

Q10

では、突発性難聴の人にお聞きます。あなたの難聴の重症度（グレード）は、直近に医師からどの重症度（グレード）と診断されていますか。
診断されていない場合は、カッコ内の聴力レベルでご判断頂いても構いません。
※なお、補聴器や人工内耳を使用されている方は、使用していない場合のことをお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

1. グレード（Grade）1（40dB（デシベル）未満）
2. グレード（Grade）2（40dB以上60dB未満）
3. グレード（Grade）3（60dB以上90dB未満）
4. グレード（Grade）4（90dB以上）
5. （難聴の程度（重症度）は）上記のようには診断されていない／よくわからない

SAR

Q11

あなたの難聴について、直近に医師からどの程度（重症度）と診断されていますか。
診断されていない場合は、カッコ内の聴力レベルでご判断頂いても構いません。
※なお、補聴器や人工内耳を使用されている方は、使用していない場合のことをお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

1. 正常（25dB（デシベル）未満）
2. 軽度難聴（25dB以上40dB未満）
3. 中等度難聴（40dB以上70dB未満）
4. 高度難聴（70dB以上90dB未満）
5. 重度難聴（90dB以上）
6. （難聴の程度（重症度）は）上記のようには診断されていない／よくわからない

SAR

Q12

あなたの難聴は、左耳、右耳、両耳のどれに起こっていますか。

▲ 設問文を折りたたむ

1. 左耳だけに起こっている
2. 右耳だけに起こっている
3. 両耳に起こっている

SAR

Q13

あなたの現在の難聴の進行度合いは、どれに近いですか。最もあてはまるものを1つお選びください。
※なお、補聴器や人工内耳を使用されている方は、使用していない場合のことをお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

1. 急激に回復している
2. 徐々に回復している
3. あまり変化はない
4. 徐々に悪化している
5. 急激に悪化している

MAC

Q14

前問（Q13）で現在難聴が（急激に・徐々に）回復していると回答した人にお聞きます。
難聴が回復している要因として、あなたが考えているもの（又は医師から言われているもの）はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 医療機関で適切な飲み薬による治療を受けていること
- ☐ 2. 医療機関で適切な注射薬（点滴（静注）や股関節内投与）による治療を受けていること
- ☐ 3. 医療機関で適切な薬物治療以外の治療を受けていること
- ☐ 4. 日中で大きな音をできるだけ避けていること
- ☐ 5. ストレスを減らして、生活していること
- ☐ 6. 睡眠時間を増やすなど、規則正しい生活をおくっていること
- ☐ 7. 難聴の原因と考えられる（医師から言われている）病気が改善していること
- ☐ 8. 特に要因は思い当たらない
- ☐ 9. その他【FA】

Q14_9FA

MAC

Q15

前問（Q13）で現在難聴が（急激に・徐々に）悪化していると回答した人にお聞きます。
難聴が悪化している要因として、あなたが考えているもの（又は医師から言われているもの）はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 医療機関で適切な治療が受けられていないこと
- ☐ 2. 日中で大きな音を聞くことが多いこと
- ☐ 3. ストレスがたまっていること
- ☐ 4. 睡眠時間が減る（少ない）など、規則正しい生活がおくれていないこと
- ☐ 5. 難聴の原因と考えられる（医師から言われている）病気が改善していないこと
- ☐ 6. （服用している飲み薬がある場合に）医師の指示通りに服薬していないこと
- ☐ 7. （服用している飲み薬があり、医師の指示通りに服用しているが、特に要因は思い当たらない
- ☐ 8. （服用している飲み薬はなく）特に要因は思い当たらない
- ☐ 9. その他【FA】

Q15_9FA

MAC

Q16

あなたの難聴について、下記のような関連症状はありますか。
あてはまるものをすべてお選びください。
※選択肢1～9以外で医師から難聴に関連する症状を言われた場合は、選択肢10に記載してください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 耳鳴り
- ☐ 2. 耳の痛み
- ☐ 3. 耳が詰まるような感じ
- ☐ 4. 耳たれ・耳漏（耳から何らかの液体がでる）
- ☐ 5. 音がゆがんで聞こえる
- ☐ 6. 音が響いて聞こえる
- ☐ 7. めまい・ふらつき
- ☐ 8. 吐き気
- ☐ 9. うっ状態
- ☐ 10. その他【FA】
- ☐ 11. 上記の症状は特にない（言われていない）

Q16_10FA

SAR

Q17

あなたはこれまでに、難聴の治療（医療機関への受診）を中断した経験はありましたか。
※1～2度受診しなかったことは含まず、ある程度の期間中断したことをお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 医師の指示により、治療を中断したことがある
- ☐ 2. 医師の指示ではなく、自らの判断で治療を中断したことがある
- ☐ 3. 医師の指示でも自らの判断でも、治療を中断したことがある
- ☐ 4. 治療を中断したことはない

MAC

Q18

では、難聴の治療（医療機関への受診）を自ら中断した理由として、あてはまるものをすべてお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 治療による効果が出て、（難聴）症状が改善したので
- ☐ 2. 治療による効果が出ず、（難聴）症状が改善しなかったため
- ☐ 3. 忙しくて受診できなくなったため
- ☐ 4. 自分で対処できると思ったため
- ☐ 5. 日常生活に支障がなくなったため
- ☐ 6. 受診頻度が多かった（高かった）ので
- ☐ 7. 病院での待ち時間が長かったため
- ☐ 8. 医師とのコミュニケーションがよくなかったため
- ☐ 9. 治療費が高いと思ったので／治療費の支払いが困難になったため
- ☐ 10. その他【FA】

Q18_10FA

MTM

Q19

あなたが難聴（関連症状を含む）の治療として、これまでに医療機関で行った（指示された）ことがある治療法と、そのうち直近1か月以内にを行った（指示された）治療法をいくつもお選びください。
※ここでは、補聴器や人工内耳の使用は除いてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q19S1 1. これまでに医療機関で行った（指示された）ことがある治療法
- Q19S2 2. 直近1か月以内に医療機関で行った（指示された）治療法

選択肢リスト

- ☐ 1. 飲み薬（ステロイド）を服用（処方）
- ☐ 2. 飲み薬（ステロイド以外）を服用（処方）
- ☐ 3. 点滴（静注）でステロイドを投与
- ☐ 4. 鼓室内注入（耳の中の鼓室（鼓膜）に直接注射液を注入）でステロイドを投与
- ☐ 5. 星状神経節ブロック（麻酔薬を喉付近に注射またはレーザー照射する治療）
- ☐ 6. 高気圧酸素療法（HBOT）（通常の大気圧より高い気圧環境の部屋やカプセルに入り、高濃度の酸素を吸入することで症状の改善を図る治療）
- ☐ 7. その他
- ☐ 8. 経過観察のみ（診察のみで特に上記の治療は行っていない）
- ☐ 9. 直近1か月以内は経過観察のみ／受診していない（ただし、それより前に医師から飲み薬を処方され、直近1か月以内に服用している場合は除く）

FA

MAC

Q20

前問（Q19）で回答された、これまでに医療機関で行った（指示された）ことがある治療法のうち、難聴を自覚してから3か月以降に行った（指示された）治療法をすべてお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 飲み薬（ステロイド）を服用（処方）
- ☐ 2. 飲み薬（ステロイド以外）を服用（処方）
- ☐ 3. 点滴（静注）でステロイドを投与
- ☐ 4. 鼓室内注入（耳の中の鼓室（鼓膜）に直接注射液を注入）でステロイドを投与
- ☐ 5. 星状神経節ブロック（麻酔薬を喉付近に注射またはレーザー照射する治療）
- ☐ 6. 高気圧酸素療法（HBOT）（通常の大気圧より高い気圧環境の部屋やカプセルに入り、高濃度の酸素を吸入することで症状の改善を図る治療）
- ☐ 7. その他【Q19S1_7FAの選択内容】
- ☐ 8. 難聴を自覚してから3か月以降に行った（指示された）治療法はない

MAC

Q21

では、これまでに医療機関で行った（指示された）ことがある難聴の治療法の中で、効果を実感したことがある治療法はどれですか。
難聴そのものに限定して、効果を実感したことがあるものをすべてお選びください。
※難聴以外の関連症状（耳鳴りや耳の痛み・詰まり、吐き気、うつ等）は除いてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 飲み薬（ステロイド）を服用（処方）
- ☐ 2. 飲み薬（ステロイド以外）を服用（処方）
- ☐ 3. 点滴（静注）でステロイドを投与
- ☐ 4. 鼓室内注入（耳の中の鼓室（鼓膜）に直接注射液を注入）でステロイドを投与
- ☐ 5. 星状神経節ブロック（麻酔薬を喉付近に注射またはレーザー照射する治療）
- ☐ 6. 高気圧酸素療法（HBOT）（通常の大気圧より高い気圧環境の部屋やカプセルに入り、高濃度の酸素を吸入することで症状の改善を図る治療）
- ☐ 7. その他【Q19S1_7FAの選択内容】
- ☐ 8. 効果を実感したことがある治療はない

MTS

Q22

前問（Q19）でお答えいただいた、これまでに医療機関で行った（指示された）ことがある難聴（関連症状を含む）の治療法について、直近に行った（指示された）ときに、どれくらいの期間連続して行って（指示されて）いましたか。
それぞれ最もあてはまるものを1つお選びください。
※中断期間があった場合は、再開後からの期間をお答えください。
※現在行っている人は、治療を開始してから現在までの期間を教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q22S1 1. 飲み薬（ステロイド）を服用（処方）
- Q22S2 2. 飲み薬（ステロイド以外）を服用（処方）
- Q22S3 3. 点滴（静注）でステロイドを投与
- Q22S4 4. 鼓室内注入でステロイドを投与
- Q22S5 5. 星状神経節ブロック
- Q22S6 6. 高気圧酸素療法（HBOT）
- Q22S7 7. その他【Q19S1_7FAの選択内容】
- Q22S8 8. 経過観察のみ

選択肢リスト

- ☐ 1. 1か月未満
- ☐ 2. 1か月～3か月未満
- ☐ 3. 3か月～6か月未満
- ☐ 4. 6か月～1年未満
- ☐ 5. 1年～2年未満
- ☐ 6. 2年～3年未満
- ☐ 7. 3年以上
- ☐ 8. 覚えていない／よくわからない

MTS

Q23

前問（Q19）でお答えいただいた、これまでに医療機関で行った（指示された）ことがある難聴（関連症状を含む）の治療法（ステロイド又はステロイド以外の薬）について、直近に行ったときの、飲み薬の1日あたりの服用回数、注射薬の1日あたりの投与回数をお答えください。
なお、毎日服用（投与）していない場合でも、服用（投与）を行う（行った）日の服用（投与）回数をお答えください。
※医師から指示された服用回数または投与回数をお答えください。
※ステロイド以外の薬を服用していた人で、複数の種類の薬（ステロイド以外）を服用していた人は、すべて合せて1日あたりどれくらいの回数を服用していたかを教えてください。（例：1日1回同じ時間に2種類飲んでいる場合は「1日1回」、1日の違う時間帯に、2種類それぞれ飲んでいての場合は「1日2回」、といったカウントでお答えください。）
※表示された項目についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q23S1 1. 飲み薬（ステロイド）を服用（処方）
- Q23S2 2. 飲み薬（ステロイド以外）を服用（処方）
- Q23S3 3. 点滴（静注）でステロイドを投与
- Q23S4 4. 鼓室内注入でステロイドを投与

選択肢リスト

- ☐ 1. 1日1回
- ☐ 2. 1日2回
- ☐ 3. 1日3回
- ☐ 4. 1日4回以上
- ☐ 5. その他
- ☐ 6. 覚えていない／よくわからない

FA

MTS

Q24

難聴（関連症状を含む）の治療法として、「点滴（静注）でステロイドを投与」「鼓室内注入でステロイドを投与したことがある人」にお聞きします。
これらの治療法を直近に行ったときの1回あたりの平均治療（投与）時間を教えてください。
※治療が始まってから終わるまでの合計時間（ステロイド投与後に安静にしている時間も含む）をお答えください。
※表示された項目についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q24S1 1. 点滴（静注）でステロイドを投与
Q24S2 2. 鼓室内注入でステロイドを投与

選択肢リスト

- ☐ 1. 30分未満
☐ 2. 30分～1時間未満
☐ 3. 1時間～1時間30分未満
☐ 4. 1時間30分～2時間未満
☐ 5. 2時間以上
☐ 6. 覚えていない／よくわからない

MTS

Q25

では、難聴（関連症状を含む）の治療法として、「点滴（静注）でステロイドを投与」「鼓室内注入でステロイドを投与したことがある人」にお聞きします。
これらの治療法を直近に行ったときの1週間あたりの治療（投与）頻度を教えてください。
※表示された項目についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q25S1 1. 点滴（静注）でステロイドを投与
Q25S2 2. 鼓室内注入でステロイドを投与

選択肢リスト

- ☐ 1. ほぼ毎日（1週間に5日以上）
☐ 2. 1週間に3～4日
☐ 3. 1週間に2日
☐ 4. 1週間に1日
☐ 5. それ（1週間に1日）より少ない
☐ 6. 覚えていない／よくわからない

MTS

Q26

続けて、難聴（関連症状を含む）の治療法として、「点滴（静注）でステロイドを投与」「鼓室内注入でステロイドを投与したことがある人」にお聞きします。
これらの治療法を直近に行ったときまでに、トータル（全部）でおよそ何回（直近の投与開始時から終了時までの（投与）回数）行いましたか。
※現在行っている人は、これまでに何回行ったかをお答えください。
※治療（投与）が一旦中断・終了し、一定の期間が経過した後に、改めて治療（投与）を再開した場合は、再開してから回数を教えてください。
※表示された項目についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q26S1 1. 点滴（静注）でステロイドを投与
Q26S2 2. 鼓室内注入でステロイドを投与

選択肢リスト

- ☐ 1. 1回
☐ 2. 2回
☐ 3. 3回
☐ 4. 4回
☐ 5. 5回
☐ 6. 6～10回
☐ 7. 11～15回
☐ 8. 16～20回
☐ 9. 21回以上
☐ 10. 覚えていない／よくわからない

MTM

Q27

難聴（関連症状を含む）の治療で、飲み薬（ステロイド以外）を処方された（服用した）ことがある人にお聞きします。
医師から難聴に対する治療薬として、これまでに処方された（服用した）ことがある薬と、そのうち直近1か月以内に処方されている（服用した）薬をすべてお選びください。
※ここでは、ステロイド薬は除いてお答えください。
※表示された項目についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q27S1 1. これまでに医師から処方された（服用した）ことがある飲み薬
Q27S2 2. 直近1か月以内に処方された（服用した）飲み薬

選択肢リスト

- ☐ 1. アデホスコーク【顆粒、腸溶錠】
☐ 2. イフェンプロジル酒石酸塩【錠】
☐ 3. オバルモン【錠】
☐ 4. カリシナゲナーゼ【錠、カプセル】（ローザグッド【錠】）
☐ 5. カルナクリン【錠、カプセル】
☐ 6. ケタス【カプセル】
☐ 7. ササミン【錠、散】
☐ 8. シフェニール塩酸塩【錠】
☐ 9. ストミンA【配合錠】
☐ 10. セフトール【錠、顆粒】
☐ 11. セロクラー【錠、細粒】
☐ 12. トリナシン【腸溶錠、顆粒】
☐ 13. ニセルゴリン【錠、細粒】
☐ 14. プロレナール【錠】
☐ 15. ベタヒスチンメシル酸塩【錠】
☐ 16. メコブラミン【錠、カプセル】（メチコバイド【錠】、レチコラン【錠】）
☐ 17. メチコバル【錠、細粒】
☐ 18. メリスロン【錠】
☐ 19. リマプロスタールファデクス【錠】
☐ 20. ATP【腸溶錠】
☐ 21. 漢方薬
☐ 22. その他

FA

MAC

Q28

では、これまでに医師から処方されたことがある難聴の飲み薬（ステロイド以外）の中で、効果を実感したことがある薬はどれですか。
難聴そのものに限定して、効果を実感したことがあるものをすべてお選びください。
※難聴以外の関連症状（耳鳴りや耳の痛み・詰まり、吐き気、うつ等）は除いてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. アデホスコーク【顆粒、腸溶錠】
☐ 2. イフェンプロジル酒石酸塩【錠】
☐ 3. オバルモン【錠】
☐ 4. カリシナゲナーゼ【錠、カプセル】（ローザグッド【錠】）
☐ 5. カルナクリン【錠、カプセル】
☐ 6. ケタス【カプセル】
☐ 7. ササミン【錠、散】
☐ 8. シフェニール塩酸塩【錠】
☐ 9. ストミンA【配合錠】
☐ 10. セフトール【錠、顆粒】
☐ 11. セロクラー【錠、細粒】
☐ 12. トリナシン【腸溶錠、顆粒】
☐ 13. ニセルゴリン【錠、細粒】
☐ 14. プロレナール【錠】
☐ 15. ベタヒスチンメシル酸塩【錠】
☐ 16. メコブラミン【錠、カプセル】（メチコバイド【錠】、レチコラン【錠】）
☐ 17. メチコバル【錠、細粒】
☐ 18. メリスロン【錠】
☐ 19. リマプロスタールファデクス【錠】
☐ 20. ATP【腸溶錠】
☐ 21. 漢方薬
☐ 22. その他【Q27S1、22FAの選択内容】
☐ 23. 効果を実感したことがある薬はない

MTM

Q29

あなたが難聴（関連症状を含む）の治療として、これまでに医療機関で行った（指示された）ことがある治療法と、そのうち直近1か月以内に行った（指示された）治療法をすべてお選びください。

※ここでは、補聴器や人工内耳の使用は除いてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q29S1	1. これまでに医療機関で行った（指示された）ことがある治療法
Q29S2	2. 直近1か月以内に医療機関で行った（指示された）治療法

選択肢リスト

- ☐ 1. 飲み薬（ステロイド）を服用（処方）
- ☐ 2. 飲み薬（ステロイド以外）を服用（処方）
- ☐ 3. 飲み薬以外の方法（点滴注射や腔室（鼓膜）内注入等）でステロイドを投与
- ☐ 4. その他
- ☐ 5. 経過観察のみ（診察のみで特に上記の治療は行っていない）
- ☐ 6. 直近1か月以内は経過観察のみ／受診していない（ただし、それより前に医師から飲み薬を処方され、直近1か月以内に服用している場合は除く）

MAC

Q30

では、これまでに医療機関で行った（指示された）ことがある難聴の治療法の中で、効果を実感したことがある治療法はどれですか。

難聴そのものに限定して、効果を実感したことがあるものをすべてお選びください。

※難聴以外の関連症状（耳鳴りや耳の痛み・詰まり、吐き気、うつ等）は除いてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 飲み薬（ステロイド）を服用（処方）
- ☐ 2. 飲み薬（ステロイド以外）を服用（処方）
- ☐ 3. 飲み薬以外の方法（点滴注射や腔室（鼓膜）内注入等）でステロイドを投与
- ☐ 4. その他 [Q29S1_4FAの選択内容]
- ☐ 5. 効果を実感したことがある治療はない

SAR

Q31

難聴の治療で、直近1か月以内に飲み薬を服用（処方）されている人にお聞きます。

医師から処方されている飲み薬について、あなたは医師（薬剤師）の指示通りに服用されていますか。

最もあてはまるものを1つお選びください。

※複数の飲み薬を処方されている場合は、総合的に判断してお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 指示通りに服用している
- ☐ 2. 指示通りではないことがたまにある（月1～2回以下）
- ☐ 3. 指示通りではないことが時々ある（週1回程度）
- ☐ 4. 指示通りでないことが多い（週3～4回程度）
- ☐ 5. まったく指示通りに服用していない（週5回以上）

MAC

Q32

あなたが、医師（薬剤師）の指示通りに飲み薬を服用していないのは、どのような理由からですか。

あてはまるものをすべてお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 難聴がある程度回復したから
- ☐ 2. 難聴に対する効果が出なかった（弱かった）から
- ☐ 3. 難聴以外の関連症状がある程度回復したから
- ☐ 4. 難聴以外の関連症状に対する効果が出なかった（弱かった）から
- ☐ 5. 副作用が心配だから／副作用が出たから
- ☐ 6. 長期間、薬を飲み続けることへの不安から
- ☐ 7. 毎日（定期的に）飲むのが面倒だから
- ☐ 8. 薬剤費が負担になるから（経済的な理由から）
- ☐ 9. 他の疾患（病気）の治療でも薬を服用しないといけないから
- ☐ 10. その他 [FA]

MTS

Q33

あなたがこれまでに医療機関で行った難聴の治療について、効果（難聴および難聴以外の関連症状）に対する満足度と総合的な満足度をそれぞれ教えてください。

※ここでは、補聴器や人工内耳による治療は含まず、お答えください。

※複数の治療法を行っている場合は、総合的な印象でお答えください。

※表示された項目についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q33S1	1. 難聴に対する効果の満足度
Q33S2	2. 耳鳴りや耳の痛み、めまいなど難聴以外の関連症状に対する効果の満足度
Q33S3	3. 総合満足度

選択肢リスト

- ☐ 1. 大変満足している
- ☐ 2. やや満足している
- ☐ 3. どちらともいえない
- ☐ 4. あまり満足していない
- ☐ 5. まったく満足していない
- ☐ 6. 難聴以外の関連症状はなかった

MTS

Q34

あなたは難聴の治療で、補聴器または人工内耳を使用されていますか。

それぞれあてはまるものを1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q34S1	1. 補聴器
Q34S2	2. 人工内耳

選択肢リスト

- ☐ 1. 使用している
- ☐ 2. 使用していない

MTS

Q35

では、難聴の治療で使用されている補聴器または人工内耳は、難聴の治療で初めて医療機関を受診してから、どれくらい経過して使用を開始しましたか。

それぞれ最もあてはまるものを1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q35S1	1. 補聴器
Q35S2	2. 人工内耳

選択肢リスト

- ☐ 1. 1か月未満
- ☐ 2. 1か月～2か月未満
- ☐ 3. 2か月～3か月未満
- ☐ 4. 3か月～6か月未満
- ☐ 5. 6か月～1年未満
- ☐ 6. 1年～2年未満
- ☐ 7. 2年～3年未満
- ☐ 8. 3年以上
- ☐ 9. 覚えていない／よくわからない

MTS

Q36

難聴の治療による補聴器または人工内耳の使用について、効果にどの程度満足していますか。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q36S1	1. 補聴器
Q36S2	2. 人工内耳

選択肢リスト

- ☐ 1. 大変満足している
- ☐ 2. やや満足している
- ☐ 3. どちらともいえない
- ☐ 4. あまり満足していない
- ☐ 5. まったく満足していない

MTM

Q37

難聴の治療で使用されている補聴器または人工内耳について、不満に感じていることがあれば、それぞれすべてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q37S1	1. 補聴器
Q37S2	2. 人工内耳

選択肢リスト

- ☐ 1. あまり効果（聞こえやすさ）を感じなかった
- ☐ 2. 効果（聞こえやすさ）は感じるが、聴こえてくる音に違和感があった
- ☐ 3. 電池の交換が面倒／使用時に電池が切れることがあった
- ☐ 4. 見た目があまりよくない
- ☐ 5. 付け心地があまりよくない
- ☐ 6. （お風呂やプールに入るときなど）付け外しが面倒
- ☐ 7. 費用の負担が大きかった
- ☐ 8. 埋め込み手術による後遺症があった
- ☐ 9. その他
- ☐ 10. 特に不満に感じていることはない

MTM

Q38

あなたが難聴の治療全体に対して、不満に感じている点は何ですか。
あてはまるものをすべてお選びください。
また、そのうち最も不満に感じている点を1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q38S1	1. 不満に感じている点
Q38S2	2. 最も不満に感じている点

選択肢リスト

- ☐ 1. 難聴（そのもの）に対する改善効果が不十分／改善する治療がないこと
- ☐ 2. 難聴以外の関連症状（耳鳴りや耳の痛み、めまいなど）に対する改善効果が不十分
- ☐ 3. 難聴（関連症状を含む）に対する改善効果がすぐに現れない
- ☐ 4. 難聴（関連症状を含む）に対する改善効果が長続きしない
- ☐ 5. 定期的に治療薬を服用しなければいけないこと
- ☐ 6. 点滴や鼓室（鼓膜）内注入によるステロイド投与の負担が大きいくこと
- ☐ 7. 医療機関への受診頻度が多い（高い）こと
- ☐ 8. 医療機関へのアクセスが悪いこと
- ☐ 9. 医療機関での待ち時間が長いこと
- ☐ 10. 医師とのコミュニケーションがよくないこと
- ☐ 11. 治療費が高いこと
- ☐ 12. その他
- ☐ 13. 特に不満に感じていることはない

SAR

Q39

医療機関で行う難聴の治療について、普段あなたと医師との間でどのように決定することが多いですか。
最もあてはまるものを1つお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 医師がすべて決定する（相談はなく、説明のみ）
- ☐ 2. 医師とあなたで治療法を相談し、主に医師が決定する
- ☐ 3. 医師とあなたで治療法を相談し、主にあなたが決定する
- ☐ 4. その他【FA】

MTS

Q40

あなたは難聴により、どのようなことに困っていますか。
下記の質問内容について、どの程度困っているかをそれぞれお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q40S1	1. 聞こえにくいために、電話をかけたくてもやめてしまうことがありますか
Q40S2	2. 聞こえにくいために、初対面の人と会うのをおっくうに感じますか
Q40S3	3. 聞こえにくいために、人とうきょうのを避けてしまうことがありますか
Q40S4	4. 聞こえにくいために、イライラしてしまうことがありますか
Q40S5	5. 家族と話をするとき、聞こえにくくてイライラすることがあります
Q40S6	6. パーティーや会合で、聞こえにくくて困ることがあります
Q40S7	7. 職場の人や顧客の話を聞いたり理解するとき、聞こえにくくて困ることがあります
Q40S8	8. 聞こえが悪いことで、障害があると感じますか
Q40S9	9. 友人、親せき、近所の人と話をするとき、聞こえにくくて困ることがあります
Q40S10	10. 職場の人や顧客の話を聞いたり理解するとき、聞こえにくくていらぬことがあります
Q40S11	11. 映画館や劇場で聞こえが悪くて困ることがあります
Q40S12	12. 聞こえにくいために、神経質になっていると感じますか
Q40S13	13. 聞こえにくいために、友人、親せき、近所の人と会いたくないことがあります
Q40S14	14. 聞こえにくいために、家族と口論になることがあります
Q40S15	15. テレビやラジオを聴くとき、聞こえにくくて困ることがあります
Q40S16	16. 聞こえにくいために、買い物に行きたくなくなることがあります
Q40S17	17. 聞こえが悪かったり聞こえにくいために、体調が悪くなることがあります
Q40S18	18. 聞こえにくいために、ひとりでのいたと思うことがあります
Q40S19	19. 聞こえにくいために、家族と話したいのにやめてしまうことがあります
Q40S20	20. 聞こえにくいことで、あなたの私生活や社会活動が制限されていると思います
Q40S21	21. 親せきや友人とレストランにいるときに、聞こえにくくて困ることがあります
Q40S22	22. 聞こえにくいのに、気分が落ち込むことがあります
Q40S23	23. 聞こえが悪いために、テレビやラジオを視聴したいのにやめてしまうことがあります
Q40S24	24. 友人と話をするとき聞こえにくいことで、不愉快に感じることがあります
Q40S25	25. 何人かで話をするとき、聞こえにくいのに取り残されているように感じることがあります

選択肢リスト

- ☐ 1. はい
- ☐ 2. ときどきある
- ☐ 3. いいえ

SAR

Q41

感音難聴（突発性難聴（慢性化した場合）、加齢性難聴、先天性難聴、脳血管性難聴）を改善するために、現在有効な治療手段はなく、リハビリや聴力の補助として、主に補聴器や人工内耳が使用されることが多いとされています。
こうした中で、今後新たに感音難聴（聴力）を改善するための治療薬が、国から初めて承認された場合、その薬を使用したいと思いますか。
※効果や費用、使用方法、副作用などについては考えず、単純に治療薬を使用してみたいかどうかについてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. ぜひ使用したい
- ☐ 2. どちらかといえば使用したい
- ☐ 3. どちらかといえば使用したくない
- ☐ 4. まったく使用したくない

MTS

Q42

前問（Q41）で治療薬を「ぜひ使用したい」「どちらかといえば使用したい」と回答した人にお聞きします。
では、感音難聴の治療薬が下記のような投与方法の場合、それぞれの程度使用したいと思いますか。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q42S1	1. 飲み薬
Q42S2	2. 点滴注射薬
Q42S3	3. 鼓室内注射薬（耳の中の鼓室（鼓膜）内に注入（注射）する方法）

選択肢リスト

- ☐ 1. ぜひ使用したい
- ☐ 2. どちらかといえば使用したい
- ☐ 3. どちらかといえば使用したくない
- ☐ 4. まったく使用したくない

SAR

Q43

前問（Q42）で鼓室内注射薬（耳の中の鼓室（鼓膜）内に注入（注射）する方法）を「ぜひ使用したい」「どちらかといえば使用したい」と回答した人にお聞します。
鼓室内注射薬を投与（注射）する場合に、あなたが許容できる（治療可能な）投与（注射）間隔は、最も短いものでどれくらいですか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 毎日でも許容できる
- ☐ 2. 2～3日に1回なら許容できる
- ☐ 3. 1週間に1回なら許容できる
- ☐ 4. 2～3週間に1回なら許容できる
- ☐ 5. 1か月に1回なら許容できる
- ☐ 6. 1か月に1回より少ない間隔でないと許容できない

SAR

Q44

では、前問（Q41）の治療薬を使用する場合に、1か月あたりの自己負担額が上限でどの程度までであれば、使用したいと思えますか。
最もあてはまるものを1つお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 月1, 000円未満
- ☐ 2. 月1, 000円～3, 000円未満
- ☐ 3. 月3, 000円～5, 000円未満
- ☐ 4. 月5, 000円～7, 000円未満
- ☐ 5. 月7, 000円～10, 000円未満
- ☐ 6. 月10, 000円～20, 000円未満
- ☐ 7. 月20, 000円～30, 000円未満
- ☐ 8. 月30, 000円以上でも使用したい

MAC

Q45

前問（Q41）で治療薬を「どちらかといえば使用したくない」「まったく使用したくない」と回答した人にお聞します。
治療薬の使用意向が低い理由として、あてはまるものをすべてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 薬を使用せずに治療したいので
- ☐ 2. どの程度効果があるかわからないので
- ☐ 3. どの程度副作用があるかわからないので
- ☐ 4. どの程度費用がかかるかわからないので
- ☐ 5. どのような投与方法になるかわからないので
- ☐ 6. 現在の治療に満足しているので
- ☐ 7. 補聴器／人工内耳で満足しているので
- ☐ 8. 治療に対する意欲（意向）があまり高くないので
- ☐ 9. その他【FA】

Q45 9FA

MAC

Q46

あなたは難聴の治療に関する情報を主にどこから入手していますか。
あてはまるものをすべてお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 医師（主治医）
- ☐ 2. 看護師
- ☐ 3. 薬剤師
- ☐ 4. 患者会に参加
- ☐ 5. インターネット（様々なホームページやSNSなど）
- ☐ 6. 補聴器を購入した店舗
- ☐ 7. TV・新聞・雑誌
- ☐ 8. 医療機関の冊子・ポスター
- ☐ 9. 医学関連の書籍
- ☐ 10. その他【FA】
- ☐ 11. 特に情報は入手していない

Q46 10FA

MAC

Q47

では、難聴の治療に関する情報をインターネットで入手するとき、主な入手先はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 病院やクリニックのホームページ
- ☐ 2. 製薬企業のホームページ
- ☐ 3. 患者会のホームページ
- ☐ 4. 一般的な検索サイト（Google、Yahoo、Siriなど）
- ☐ 5. 一般的な疾患情報サイト
- ☐ 6. （患者さんなどの）ブログ
- ☐ 7. （患者さんなどの）Twitter
- ☐ 8. （患者さんなどの）Facebook
- ☐ 9. （患者さんなどの）Instagram（インスタグラム）
- ☐ 10. （患者さんなどの）Youtube
- ☐ 11. その他【FA】

Q47 11FA